

～子ども達の未来のために～

嵐山町立小中学校再編等審議会

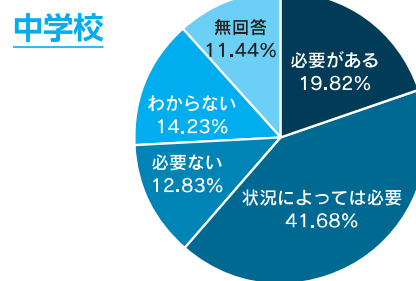
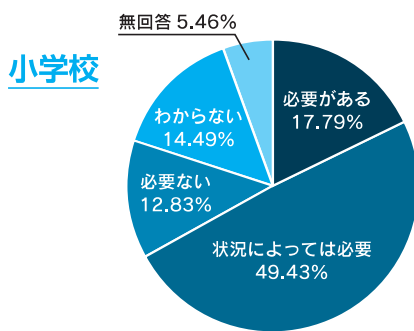
会議は8月中に第1回目を開催する予定です。会議で話し合われたことは、この広報誌や町ホームページにおいて、皆さんにお知らせします。



学校教育についてのアンケート結果

町内小中学校及び幼稚園・保育園の保護者を対象にアンケートを実施しました。設問の1項目として「再編の必要性」についてお尋ねしました。「必要がある」、「状況によっては必要」を併せると小学校では67.22%、中学校では61.5%でした。

ご協力いただきありがとうございました。



※配布1,177件に対して787件のご回答を頂きました（回答率66.86%）

※回答数やグラフは速報値です。今後の集計で変動する可能性があります。

なぜ 学校再編等の話し合いが必要なのでしょう

✓ 児童生徒数の減少

全国的に少子高齢化・人口減少が進むなか、嵐山町においても児童生徒数が減少を続け、学校の小規模化が深刻となっています。

嵐山町における令和2年の小学校児童数は701人で、昭和56年（40年前）のピーク時の2,831人と比較すると、約75%減となっています。今後の人口推計では、10年後には498人、20年後には383人とさらなる児童数の減少が見込まれています。

✓ 学校設備の老朽化

町立小中学校の校舎は全て築後35年を超えており、一番古い菅谷小学校は築後49年が経過しています。各校とも毎年多くの修繕を必要としており、大規模な修繕は対応できず応急的な修繕のみの対応としているものも多くあります。